

認定NPO法人
RASA-Japan
案内



RASA-Japan

RASA-Japanの理念

私たちは、フィリピンの社会的に弱い立場の人々の自立を支援します。



行動基準

私たちは、学習環境に恵まれない子どもたちに教室を増設し、就学向上に寄与します。

私たちは、食事に恵まれない子どもたちに給食を支給し、体力向上に寄与します。

認定NPO法人RASA-Japanの概要

【理事長】

藤井 典夫

【所在地】

〒468-0014

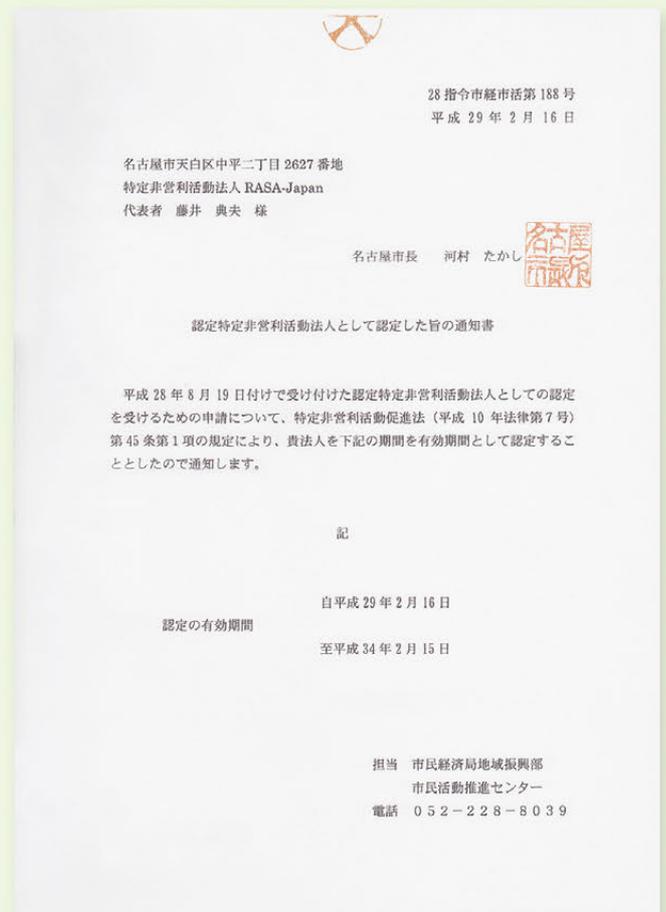
名古屋市天白区中平2丁目2627番地

【創設者】

John.Joseph.Seland
(南山大学 名誉教授)

【沿革】

1981年 タイで支援活動開始
1999年 フィリピンで学校建設を始める
2006年 給食支援活動・生活支援活動を始める
2009年 NPO設立
2016年 給食支援活動スタディツアーを始める
2017年 認定NPO法人



認定特定非営利活動法人として認定した旨の通知書

国際貢献

学校建設
人材育成
ボランティア活動
給食支援
栄養障害児の救済



生活支援

- 仕事の提供
- 工業用ウェスの製造
- 石けん・ローソク等の製造・販売



生活支援の理由

フィリピンの貧困家庭にとって、子どもは大切な収入の稼ぎ手であるために通学ができない現状があります。私たちは、子どもを学校に通わせる経済環境づくりの一つとして「生活支援」も行っています。



未来に向かって RASA-Japan の活動

学校建設事業

- 1999年から毎年欠かさず建設を継続
- 建設作業だけでなく学校の子も達に授業を実施
日本語教室、折紙教室、日本の子ども遊び等
- 田舎や離島では学ぶ校舎の質・量ともに不足
その解消に寄与



ボランティア派遣事業

- ひとり家庭にホームステイ
ホストファミリーをはじめ、近隣家庭との交流による異文化体験
- 現地建設業者との協同作業による学校建設活動
- 現地の日本企業を訪問
- ホストファミリーとの一日行楽



ボランティアの交流

- 現地で芽生えた友情は、帰国後も堅い絆で結束
- 絆は次年度の後輩確保や各種イベント参加で開花
- 情報交換会・親睦会の開催
- ホストファミリーとフェイスブックで交信
- ホストファミリーへの再訪問



栄養障害児の救済事業

給食支援活動

フィリピンでは学校給食制度がほとんどなく、貧困家庭では1日1食の食事がやっとです。給食支援活動は、極貧家庭の栄養失調の子どもたちに給食を支給し、健康維持と成育に寄与することを目的とする活動です。親から子どもへと繰り返される貧困の連鎖は、生きていくための基礎教育を受けていないことが原因です。空腹で授業に集中できない、基礎学力が身につかない。これらを克服するために、子どもたちの空腹を満たし、通学や学ぶ機会を充実させ、学力を向上させます。さらには、子どもが自立して生きられるようにつなげていきます。2006年セブ州で給食支援活動を開始しました。



- ルソン島ラグナ州サウスビル第1小学校で、栄養失調児1500人のうち特に発育不全状態の子ども25名の給食を2012年から開始、漸次給食児童を増やし、衛生とマナー教育を行ってきました。この活動により、給食を受けた子どもに大きな改善の成果が見られ、ラグナ州教育省から表彰を受けました。
- 現在5年、6年生各50名計100名に給食を実施。学校が必要度の高い栄養失調の子どもを家庭を訪問しながら選んでいます。
- 2016年スタディ・ツアーを開始。夏休みを利用して学生ボランティアを現地に約1週間派遣、ホームステイで異文化を体験しながら給食活動や日本語授業等を実施することで、子どもたちとの交流を行います。



ラグナ州教育省の表彰盾

企業の皆様へ 学校建設協同事業のお願い

建設費全額支援型

貴社に建設費のみを全額出資して頂き、その他諸費用の準備・運営を当法人が行う場合

建設費協同支援型

貴社を含む他の企業と当法人が協同して、建設する場合
(出資した金額は当法人への寄付金として処理します)

建設費の目安

平屋建て3教室(各教室にトイレ付) 鉄筋コンクリート造り、一部ブロック仕様トタン屋根。
価格・・・500万円～550万円(詳細は現地と協議します)

企業においては社会貢献と人材育成の一助となるプログラム

貴社の社員を当法人が行う大学生対象の建設ボランティア活動に優先的に受け入れ、人材育成に寄与します。

企業名入り記念銘板を設置

建設した校舎に半永久の金属製銘板を設置します。
同時に協同事業に支援をいただいた企業名を無償で刻印します。



※ 認定NPO法人RASA-Japanにご寄附をいただきますと、法人税の優遇措置が受けられます。

なぜ、フィリピンなのですか？

RASA-Japan創始者であるJohn.Joseph.Seland神父は、1985年5月フィリピン・マニラ近郊で開かれた「正義と平和世界大会」に参加し、スモーキーマウンテンでの極貧の方々の状況に接して心を痛めました。それまで東南アジア各地で活動してきましたが、ボランティア活動の拠点をこの地にしようと思いを新たにしました。フィリピンは大多数の国民がキリスト教信者であり、また英語が公用語でもあるため、意思の疎通に関しては全く問題ないこともこの地を選んだ大きな理由といえます。



個人の皆様へ 寄付のお願い

フィリピンは相変わらず、貧富の格差がひどく、生活基盤である仕事に就けていない人達は増加の一途をたどっています。

RASA-Japanは、フィリピンの子どもたちのために学校建設と給食を提供してまいりましたが、学校はまだ不足し、教室増設の要望はどんどん増え続け、ますます資金が必要となっております。

私たちの活動は皆さまからの寄附金および会費によって支えられています。

フィリピンの子どもたちのために、皆様方多数のお力を貸してくださいますようよろしくお願い申し上げます。

※ 個人の皆様がRASA-Japanに寄附をすると税金が還付または減額されます。
(この制度を利用する場合には、確定申告が必要です)



RASA-Japanは、
ニュースレター
で活動報告を
しています。



【振替払込先】

・ゆうちょ銀行 記号 00890-4 番号 31185 トク(ト)ラサ-ジ ャパン

【振込先】

・三菱東京UFJ銀行 平針支店 普通 0037025
トク(ト)化イリカト ヲウジンラサジ ャパン

・ゆうちょ銀行 記号 12120 番号 35666151 トク(ト)ラサ-ジ ャパン
<他金融機関から振込の場合>

店名:二一八 店番:218 預金種目:普通 口座番号:3566615

RASA-Japanの意味は、

R	⇒	Rural	田舎
A	⇒	Asia	アジア
S	⇒	Solidarity	結束、連帯
A	⇒	Association	団体

アジアでは経済的に恵まれない、特に田舎の人々の教育環境改善が必要です。それにより貧困からの脱却を目指して、実現の努力をしている団体です。



【ボランティア活動にご参加いただいた方々】

RASA-Japanは、これまで600人以上の大学生等のボランティアの助けを得て、25の学校と3つの生活支援施設を造り続けてまいりました。今までにご参加いただいた主な大学生等は次の通りです。

南山大学および同大学大学院、椙山女学園大学、愛知淑徳大学、愛知学院大学、名古屋学院大学、愛知大学、金城学院大学、中京大学、名古屋大学および同大学大学院、名古屋工業大学、愛知教育大学、岐阜大学、至学館大学、秋田国際教養大学、上智大学、日本大学、芝浦工業大学、京都ノートルダム女子大学、立命館大学、関西外国語大学、沖縄県立高校、名古屋市内大学教授、ともしび豊川市立中学教職員、他のNPO法人職員(順不同)

RASAがフィリピンに建設した地域と学校数



所在地 〒468-0014

名古屋市天白区中平2丁目2627番地

TEL / FAX 052-803-1649

E-mail: info@rasa-japan.com

Web Site <http://rasa-japan.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/RASA.Japan/>

Twitter https://twitter.com/rasa_japan/

Instagram https://www.instagram.com/rasa_japan/



RASA-Japan